

修得目標 医療技術学科救急救命士コース

学科の修得目標		全学の修得目標		4要素
レベル1	レベル2			
A 専門的医療人として高い素養を有している	1 社会人としてのマナーを説明し、実践できる	A. 自律・自立して学修できる		態度・志向性
	2 偏りのない幅広い教養を身につけ、説明できる	C. 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する		知識・理解
	3 医療人としての知識や行動について説明できる			知識・理解
	4 医療人たる倫理観を基に、生命の尊厳について説明できる			態度・志向性
	5 医学の土台となる自然科学（数学・物理・化学・生物学など）の知識を説明できる			知識・理解
B 救急救命に係る倫理観を持ち、傷病者中心の救急救命活動をチームとして行える協調性とリーダーシップについて説明できる	6 生命や人権、科学、民主主義に基づく近代的倫理観を確立し、発信できる			汎用的技能
	7 患者・家族、同僚、他医療職種と連携し、良き医療のために協働できる			態度・志向性
	8 口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を生かして、組織内で自己に適合したリーダーシップの活用法を議論できる	D. 口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する		汎用的技能
	9 救急要請や有事を想定した場面と対処法を説明できる			態度・志向性
C 医療領域の基礎となる自然科学、医学的知識を説明できる	10 自然科学と医学の知識を有機的に関連付け、情報を収集・分析し、救急活動に活用できる	B. 多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる		汎用的技能
	11 専門的医療人として自立し、個性・能力を活かした関わり方を構築し、他医療職種および他関係機関職種とのコミュニケーションを図ることができる	G. 協働作業によって新たなものを構築することができる		態度・志向性
D 病院前救護および災害現場において、安全かつ迅速・的確な総合的判断力と医療処置技術を発揮するために必要な医学的知識、救急救命処置技術について説明できる	12 病院前救護分野の発展に伴う技術革新を探求できる			汎用的技能
	13 常に、新しい知見を求め、知識を説明できる	H. 獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる		統合的な学習経験と創造的思考力
E 修得した救急救命士の知識・技術を基礎として、地域社会に貢献する意欲を有している	14 業務地の地勢や歴史、生活様式と健康・傷病との関係を疫学的に説明できる	E. 多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる		知識・理解
	15 地域固有の傷病・事故への備えを、住民と連携して検討し、活用できる			知識・理解
	16 市民の公衆衛生への認識を促す発信ができる	F. 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる		汎用的技能

